

1 クリニックにおける寒冷地仕様の 高効率電気式ヒートポンプへの更新による省エネ

このクリニックでは、設備の老朽化によるメンテナンスに苦慮していたことから、運営において特に影響の大きい空調設備の更新を行うとともに、省エネ・CO₂排出量削減も目指すこととしました。

更新前は灯油式エアコン（KHP）でしたが、メンテナンスやCO₂削減等の観点から今回、既存の冷媒配管を活用するリニューアル式で寒冷地仕様の高効率な電気式ヒートポンプ（EHP）を導入するとともに、エネルギー使用の見える化もを行い、省エネとCO₂削減に繋がりました。

改善効果

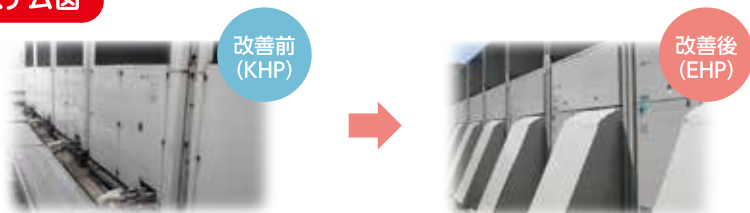
- 従来のシステムと比較して
 - ・ 年間一次エネルギー使用量：24%低減
 - ・ 年間CO₂排出量：47%低減*

設備概要

- ビル用マルチエアコン（新設）
 - ・ 33.5kW×4台
 - ・ 40.0kW×1台
 - ・ 56.0kW×2台
 - ・ 45.0kW×2台

※ 電力のCO₂排出係数：0.436kg-CO₂/kWh
灯油のCO₂排出係数：2.49kg-CO₂/ℓ

システム図



【KHPの既設冷媒配管を利用】

